



2019年3月期 第2四半期 決算説明会 資料

2018年11月20日
南海電気鉄道株式会社
(証券コード 9044)

I.	2019年3月期 第2四半期 決算概要	P. 2
II.	2019年3月期 業績予想	P.16
III.	中期経営計画「共創136計画」の進捗状況	..	P.23
	Appendix	P.36

「見通し」に関する注意事項

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。

本資料で記述しております業績予想及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離する場合がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

I. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

1) 業績ハイライト

(単位：百万円・%)

	2018年3月期 2Q実績 (A)	2019年3月期 2Q実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率	期初予想 (C)*	増減額 (B-C)	増減率
営業収益	108,243	112,724	4,481	4.1	115,200	△ 2,475	△ 2.1
営業利益	16,783	17,225	442	2.6	17,000	225	1.3
経常利益	14,738	15,433	694	4.7	14,900	533	3.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,132	12,283	2,151	21.2	12,000	283	2.4

<主な増減理由等：前年同期比>

営業収益 運輸業で台風等の影響により減収となった一方で、大口マンション販売収入の増加や建設業における完成工事高の増加により増収

営業利益 不動産業および建設業における増収により増益

経常利益 支払利息の減少もあり増益 **(第2四半期として過去最高)**

親会社株主に帰属する四半期純利益 繰延税金資産の回収可能性見直しによる法人税等の減少もあり増益 **(第2四半期として過去最高)**

<主な増減理由等：期初予想比>

台風影響等による減収の一方、不動産業における粗利益率の改善や経費の減少等により営業増益

※ 2019年3月期 第2四半期 期初予想 (C) : 2018年4月27日公表の数値

2) 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2018年3月末	2018年9月末	増減額	主な増減理由
流動資産	77,527	75,783	△ 1,743	●流動資産 商品（販売用マンション）の減少
固定資産	824,518	838,080	13,561	●固定資産 設備投資額 +223億円 減価償却の進捗 △130億円
資産合計	902,045	913,863	11,817	
負債合計	669,210	669,609	398	●負債 借入金等の増加 +31億円 買掛金の減少 △28億円（工事代支払他）
純資産	232,835	244,254	11,418	●純資産 親会社株主に帰属する四半期純利益 +122億円 配当金支払 △17億円
負債純資産合計	902,045	913,863	11,817	
有利子負債残高	465,901	469,039	3,138	なんばスカイオ建設工事の設備資金等の調達による増加

3) キャッシュ・フローの状況

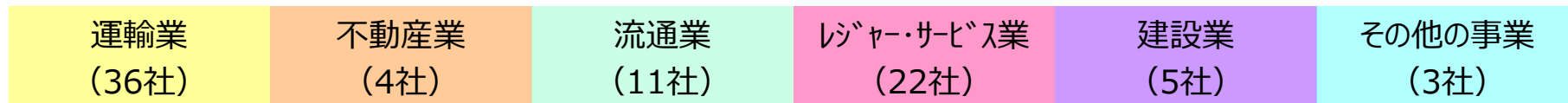
(単位：百万円)

	2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	15,961	12,051	△ 3,910	<ul style="list-style-type: none"> ●営業活動によるキャッシュ・フロー <ul style="list-style-type: none"> 売上債権の増減額 △30億円 仕入債務の増減額 △27億円 法人税等の支払額 △24億円 たな卸資産の増減額 +62億円 その他 △20億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 15,924	△ 15,478	446	<ul style="list-style-type: none"> ●投資活動によるキャッシュ・フロー <ul style="list-style-type: none"> 工事負担金等受入による収入 +27億円 固定資産の取得 △3億円 (当期) △231億円 (前期) △228億円 その他 △20億円 (前期：子会社での収用補償金の收受)
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,242	1,076	2,319	<ul style="list-style-type: none"> ●財務活動によるキャッシュ・フロー <ul style="list-style-type: none"> 社債 償還支出 +100億円 借入金 +53億円 コマーシャル・パ-パ-の純増減額 △130億円
現金及び現金 同等物の期末残高	17,136	17,370	234	

セグメントの構成状況（2018年9月末現在）

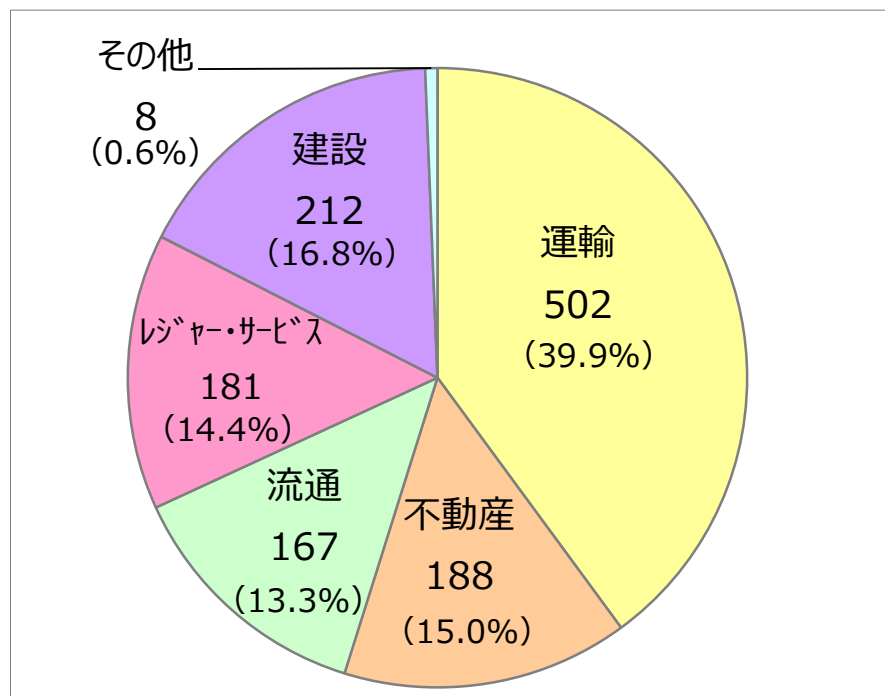
【連結子会社57社・非連結子会社13社・関連会社6社（うち持分法適用会社1社）】

増減（対 2018年3月末現在） 連結子会社の減少 1社：株式会社TTS（グループ内合併）

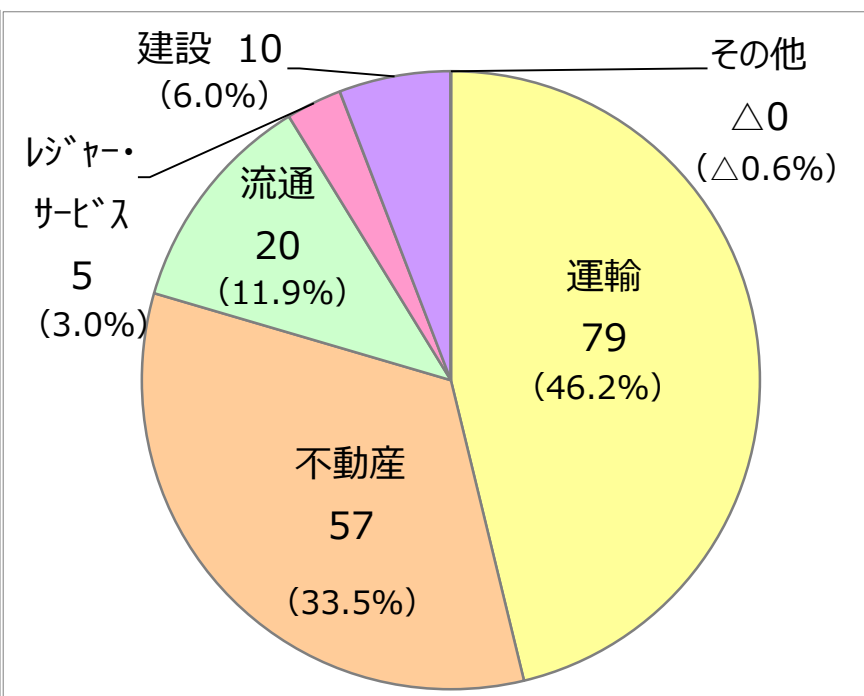


※当社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に、泉北高速鉄道株式会社は運輸業と不動産業に重複して含まれております。

営業収益（単位：億円）



営業利益（単位：億円）



1) セグメント別営業収益

(単位：百万円・%)

	2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減額	増減率
運 輸 業	50,467	50,274	△ 192	△ 0.4
不 動 産 業	15,227	18,879	3,651	24.0
流 通 業	17,823	16,777	△ 1,046	△ 5.9
レジャー・サービス業	18,617	18,141	△ 476	△ 2.6
建 設 業	19,679	21,257	1,578	8.0
そ の 他 の 事 業	895	800	△ 95	△ 10.6
調 整 額	△ 14,467	△ 13,406	—	—
合 計	108,243	112,724	4,481	4.1

2) セグメント別営業利益

(単位：百万円・%)

	2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減額	増減率
運 輸 業	8,152	7,953	△ 199	△ 2.4
不 動 産 業	5,059	5,777	718	14.2
流 通 業	1,920	2,048	128	6.7
レジャー・サービス業	997	515	△ 482	△ 48.3
建 設 業	816	1,040	223	27.3
そ の 他 の 事 業	32	△ 96	△ 129	—
調 整 額	△ 195	△ 12	—	—
合 計	16,783	17,225	442	2.6

3) 運輸業の実績（減収減益）

（単位：百万円・%）

	2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減額	増減率	主な増減理由	
鉄道事業	34,645	34,370	△ 275	△ 0.8	●鉄道事業 （収益）	
軌道事業	768	785	17	2.2	台風影響ほかにより減収	
バス事業	13,010	13,087	77	0.6	既設線 △3.8億円 空港線 +0.4億円	
海運業	1,021	1,055	34	3.3	（利益）	
貨物運送業	2,076	2,193	117	5.6	連絡橋使用料の減 +3億円 動力費の減 +2億円	
車両整備業	1,888	2,004	115	6.1		
調整額（セグメント内）	△ 2,944	△ 3,223	－	－	●バス事業 （利益） 燃料費、人件費の増加により減益	
営業収益	50,467	50,274	△ 192	△ 0.4		
営業利益	8,152	7,953	△ 199	△ 2.4	●貨物運送業 （収益）	
主な内訳	鉄道事業	6,597	6,637	40	0.6	航空貨物輸送 +1億円
	バス事業	1,342	1,051	△ 290	△ 21.6	

鉄道旅客収入と輸送人員表（個別）

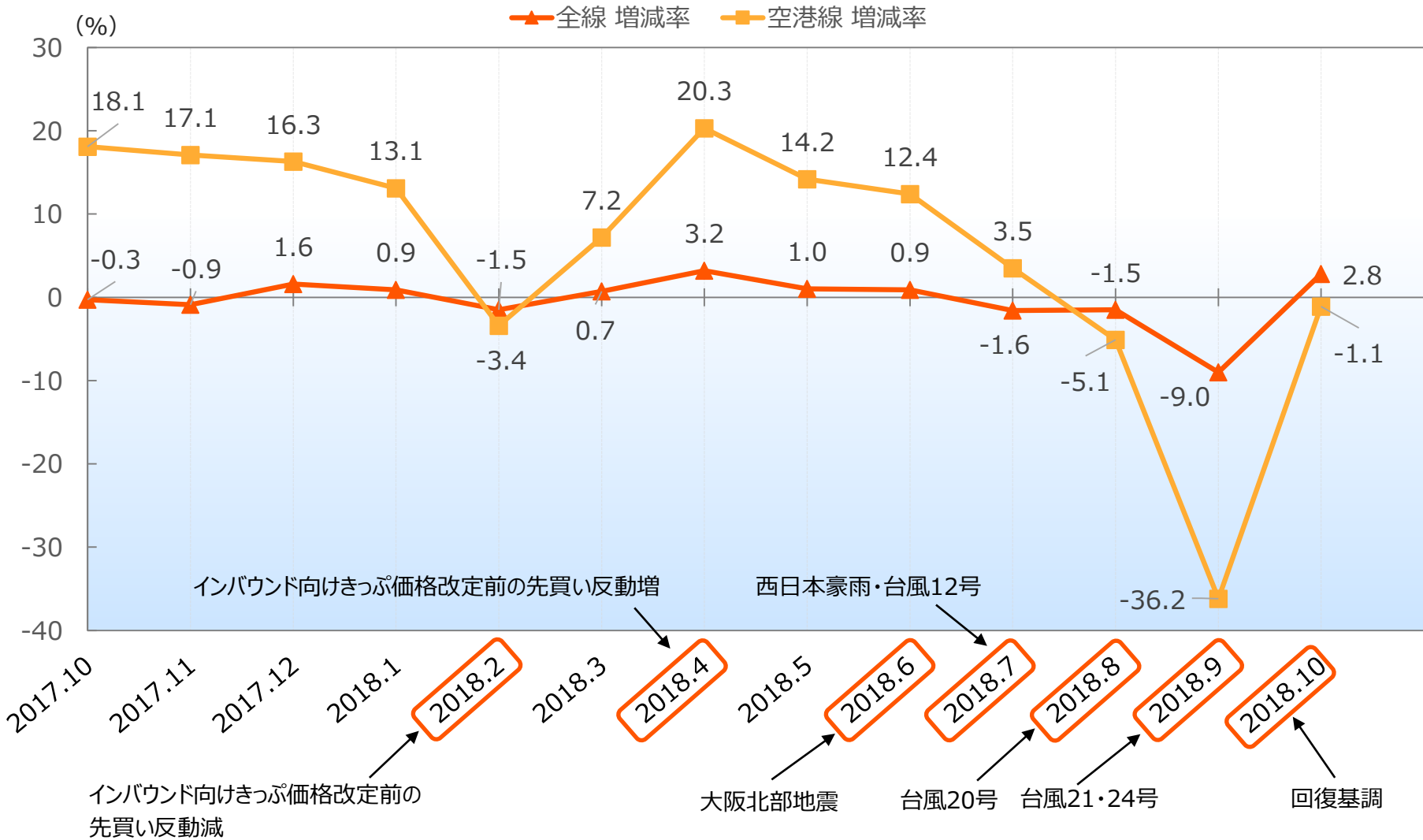
（単位：百万円・千人・％）

全線			2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減率	期初予想	増減率
旅客収入	定期外		17,915	17,612	△1.7	18,344	△4.0
	定期		11,496	11,459	△0.3	11,531	△0.6
	合計		29,411	29,072	△1.2	29,875	△2.7
輸送人員	定期外		49,111	48,578	△1.1	49,864	△2.6
	定期		72,444	72,482	0.1	72,664	△0.3
	合計		121,555	121,060	△0.4	122,528	△1.2

（単位：百万円・千人・％）

空港線			2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減率	期初予想	増減率
旅客収入	定期外		4,240	4,260	0.5	4,697	△9.3
	定期		703	724	3.0	716	1.1
	合計		4,944	4,984	0.8	5,413	△7.9
輸送人員	定期外		5,200	5,252	1.0	5,734	△8.4
	定期		2,252	2,314	2.8	2,294	0.9
	合計		7,452	7,566	1.5	8,028	△5.8

【参考】 鉄道旅客収入 前年同月比増減率の推移



4) 不動産業の実績（増収増益）

（単位：百万円・%）

	2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減額	増減率	主な増減理由
不動産賃貸業	12,740	12,980	240	1.9	●不動産賃貸業 (収益) 新規取得物件の増 ・ハタゴイン関西空港('18/3開業) ・POSCO OSAKAビル('18/7取得) ・ナインアワーズ赤坂('18/5開業) (利益) 修繕費の増加により減益
不動産販売業	2,708	6,377	3,669	135.5	
調整額（セグメント内）	△ 221	△ 479	－	－	
営業収益	15,227	18,879	3,651	24.0	●不動産販売業 (収益) ○当期 ヴェリテ富田林 24億円 グランマークシティ東向日駅前 17億円 (利益) 増収により増益
営業利益	5,059	5,777	718	14.2	
主な内訳					
不動産賃貸業	5,416	5,378	△ 37	△ 0.7	
不動産販売業	△ 197	561	758	－	

5) 流通業の実績（減収増益）

（単位：百万円・%）

	2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減額	増減率	主な増減理由	
ショッピングセンター の 経 営	7,462	7,527	64	0.9	●ショッピングセンターの経営 (収益) なんばCITY好調 泉ヶ丘駅ナカ店舗新規開業	
駅ビジネス事業	10,980	9,754	△ 1,226	△ 11.2		
そ の 他	892	835	△ 57	△ 6.5	(利益) 増収および減価償却費の減少 により増益	
調整額（セグメント内）	△ 1,512	△ 1,339	—	—		
営 業 収 益	17,823	16,777	△ 1,046	△ 5.9	● 駅ビジネス事業 (収益) ekimo事業契約形態変更による減 △9億円	
営 業 利 益	1,920	2,048	128	6.7	地下鉄売店契約終了による減 △1億円	
主 な 内 訳	ショッピングセンター の 経 営	1,324	1,398	73	5.6	
	駅ビジネス事業	600	630	30	5.1	

6) レジャー・サービス業の実績（減収減益）

（単位：百万円・%）

	2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減額	増減率	主な増減理由	
遊園事業	736	645	△ 91	△ 12.4	●ホテル・旅館業 （収益） ホテル中の島リニューアルによる 一部休業影響	
旅行業	1,016	1,023	7	0.8		
ホテル・旅館業	568	189	△ 378	△ 66.6		
ボートレース施設賃貸業	2,560	2,457	△ 103	△ 4.0	●ボートレース施設賃貸業 （収益） 舟券売上の減	
ビル管理メンテナンス業	10,934	11,131	196	1.8	●ビル管理メンテナンス業 （収益） 設備関係工事の増 （利益） 売上原価、人件費の増加 により減益	
葬祭事業	1,274	1,344	70	5.5		
その他	2,575	2,447	△ 127	△ 5.0		
調整額（セグメント内）	△ 1,048	△ 1,097	—	—		
営業収益	18,617	18,141	△ 476	△ 2.6		
営業利益	997	515	△ 482	△ 48.3		
主な 内訳	ビル管理メンテナンス業	392	300	△ 91	△ 23.4	

7) 建設業の実績（増収増益）

（単位：百万円・%）

	2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減額	増減率	主な増減理由
建設業	19,697	21,269	1,572	8.0	完成工事高の増加により 増収増益
調整額（セグメント内）	△ 17	△ 11	—	—	
営業収益	19,679	21,257	1,578	8.0	
営業利益	816	1,040	223	27.3	

8) その他の事業の実績（減収減益）

（単位：百万円・%）

	2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減額	増減率	増減理由
その他	897	805	△ 91	△ 10.2	システム開発収入の減少により 減収減益
調整額（セグメント内）	△ 1	△ 5	—	—	
営業収益	895	800	△ 95	△ 10.6	
営業利益	32	△ 96	△ 129	—	

Ⅱ. 2019年3月期 業績予想

1) 業績ハイライト

(単位：百万円)

	2019年3月期			主な差異要因	2018年 3月期 実績 (C)	差異 (B-C)
	期初予想 (A)	修正予想 (B) ※1	差異 (B-A)			
営業収益	232,200	229,200	△3,000	●営業収益 台風による空港線一時運休の 影響等により減収	227,874	1,325
営業利益	32,000	31,500	△500		33,971	△2,471
経常利益	27,600	27,500	△100	●営業利益 減収により減益	29,733	△2,233
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,700	20,000	△700	●親会社株主に帰属する当期純利益 災害による損失の計上もあり減益	14,719	5,280
投資額	65,600	63,700	△1,900	●投資額 投資計画の一部を翌期へ見送った ことにより減少	43,653	20,046
減価償却費	27,900	27,600	△300		26,645	954
EBITDA ※2	60,600	60,000	△600		61,378	△1,378
有利子負債残高	498,600	499,700	1,100	●有利子負債残高 台風等の災害による損失および 分譲マンション仕入原価の支払 見込増により増加	465,901	33,798
有利子負債残高/ EBITDA ※2 倍率	8.2倍	8.3倍	0.1pt		7.6倍	0.7pt

※1 修正予想 (B) : 2018年10月31日時点の数値

※2 営業利益 + 受取配当金 + 減価償却費

2) セグメント別営業収益

(単位：百万円)

	2019年3月期			主な差異要因	2018年 3月期 実績 (C)	差異 (B-C)
	期初予想 (A)	修正予想 (B) ※	差異 (B-A)			
運 輸 業	102,700	101,500	△1,200	●運輸業 鉄道事業 △11億円 (うち空港線△7億円、既設線△4億円)	100,889	610
不 動 産 業	38,100	37,600	△500	●不動産業 不動産賃貸業 △1億円 (新規物件取得時期見直しによる減)	41,248	△3,648
流 通 業	33,800	33,700	△100	不動産販売業 △1億円 (戸建販売収入の減)	35,608	△1,908
レジャー・ サービス業	40,300	40,200	△100	●流通業 駅ビジネス事業 △2億円 (売店事業収入の減)	39,362	837
建 設 業	44,200	43,700	△500	●レジャー・サービス業 遊園事業 △1億円 (みさき公園入園者数の減)	41,849	1,850
その他の事業	3,000	2,900	△100	旅行業 △1億円 (業務旅行の減)	2,278	621
調 整 額	△29,900	△ 30,400	—	その他 △1億円 (ゴルフ場収入の減)	△33,363	—
合 計	232,200	229,200	△3,000	ビル管理メンテナンス業 +3億円 (設備工事収入の増) ●建設業 (完成工事高の減)	227,874	1,325

※ 修正予想 (B) : 2018年10月31日時点の数値

3) セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	2019年3月期			主な差異要因	2018年 3月期 実績 (C)	差異 (B-C)
	期初予想 (A)	修正予想 (B) ※	差異 (B-A)			
運 輸 業	14,200	13,500	△700	●運輸業 鉄道事業 △4億円 (減収により減益)	15,004	△1,504
不 動 産 業	10,100	10,400	300	バス事業 △2億円 (燃料費、人件費の増)	11,347	△947
流 通 業	3,600	3,800	200	●不動産業	4,011	△211
レジャー・ サービス業	1,900	1,700	△200	不動産販売業 +2億円 (粗利率の改善、経費の減)	1,847	△147
建 設 業	2,400	2,400	—	●流通業	2,337	62
その 他 の 事 業	100	100	—	ショッピングセンターの経営 +2億円 (経費の減)	178	△78
調 整 額	△300	△ 400	—	●レジャー・サービス業	△755	—
合 計	32,000	31,500	△500	遊園事業 △1億円 (減収により減益)	33,971	△2,471

※ 修正予想 (B) : 2018年10月31日時点の数値

4) セグメント別投資額・EBITDA

(単位：百万円)

	投資額				EBITDA※1		
	2019年3月期			修正予想額 主な内訳	2019年3月期		
	期初予想 (A)	修正予想 (B) ※2	差異 (B-A)		期初予想 (A)	修正予想 (B) ※2	差異 (B-A)
運輸業	21,200	21,300	100	<収益拡大投資 382億円>	29,600	28,700	△900
不動産業	39,500	38,000	△1,500	・なんばのまちづくり関連 なんばスカイオ建設工事等 140億円	16,900	17,100	200
流通業	3,300	3,000	△300	・インバウンド関連 関空関連企業向け住宅等 34億円	8,300	8,500	200
レジャー・ サービス業	2,800	2,400	△400	・駅を拠点としたまちづくり関連 和歌山市駅活性化等 22億円	3,400	3,200	△200
建設業	100	200	100	・不動産事業の拡充等 新規収益物件の取得等 163億円	2,500	2,500	—
その他の事業	0	0	—	<安全・更新投資 254億円>	200	200	—
調整額	△1,300	△ 1,200	—	・鉄道関連工事 車両新造、駅務機器更新等 120億円	△300	△ 200	—
合計	65,600	63,700	△1,900	・不動産・流通施設工事 南海ターミナルビル既存施設改修等 64億円	60,600	60,000	△600
				・その他 バス車両更新等			

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費、EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

※2 修正予想 (B) : 2018年10月31日時点の数値

5) 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表 (個別)

(単位：百万円・千人・%)

全線		2018年3月期 実績	対前年 増減率	2019年3月期 期初予想	対前年 増減率	2019年3月期 修正予想※	対前年 増減率
旅客収入	定期外	35,464	2.0	36,487	2.9	35,436	△0.1
	定期	22,488	0.4	22,581	0.4	22,449	△0.2
	合計	57,953	1.3	59,069	1.9	57,885	△0.1
輸送人員	定期外	97,911	1.4	99,260	1.4	97,847	△0.1
	定期	140,568	0.7	141,065	0.4	140,726	0.1
	合計	238,479	1.0	240,325	0.8	238,573	0.0

(単位：百万円・千人・%)

空港線		2018年3月期 実績	対前年 増減率	2019年3月期 期初予想	対前年 増減率	2019年3月期 修正予想※	対前年 増減率
旅客収入	定期外	8,775	14.1	9,542	8.7	8,755	△0.2
	定期	1,395	3.8	1,423	2.0	1,436	2.9
	合計	10,170	12.6	10,966	7.8	10,192	0.2
輸送人員	定期外	10,678	11.7	11,641	9.0	10,729	0.5
	定期	4,475	4.9	4,560	1.9	4,605	2.9
	合計	15,153	9.6	16,201	6.9	15,334	1.2

※ 修正予想：2018年10月31日時点の数値

主な被害状況と復旧状況(9月20日:全線で運転再開)

1

- 空港線（りんくうタウン～関西空港駅間）
 関西国際空港連絡橋にタンカーが衝突し橋梁が損傷したため、列車運行を見合わせ
 ⇒ 9月8日：「泉佐野～りんくうタウン駅」間で運転再開
 ⇒ 9月18日：「りんくうタウン～関西空港駅」間を含む空港線で運転再開
- 南海本線（尾崎駅）
 火災により、2階駅舎部分がほぼ全焼し、同駅営業休止
 ⇒ 9月11日：仮復旧に伴い、同駅営業再開（但し、本復旧までは相当期間を要する見込み）
- 高野線及び鋼索線（ケーブルカー）
 「高野下～極楽橋駅」間及び「極楽橋～高野山駅」間において、倒木や電線路の損傷などにより、運転見合わせ
 ⇒ 9月20日：運転再開

2019年3月期業績(連結)への影響

以下の影響を業績予想へ反映

2

	上期実績	下期予想	通期予想
減収	6.6億円	2.4億円	9.1億円
（うち、鉄道事業）	（4.1億円）	（1.7億円）	（5.9億円）
減益	6.1億円	2.0億円	8.1億円
特別損失	0.3億円	9.1億円	9.4億円

※ 運輸業 鉄道旅客収入の見通しについて：スライド21ご参照

Ⅲ. 中期経営計画「共創136計画」の 進捗状況

南海グループ 経営ビジョン2027

満足と感動の提供を通じて、
選ばれる沿線、選ばれる企業グループとなる

なにわ筋線開業に向け、沿線を磨く10年間

- 沿線を主たる事業エリアとし、グループの総力を挙げて沿線価値向上に注力する
- 「なんば」と「インバウンド」をビジネスチャンスとして活用することで、沿線価値向上を加速させる
- アライアンスを積極活用することで、事業展開をスピードアップさせる

Phase1

共創136計画

2018～2020年度

Phase2
中期経営計画

Phase3
中期経営計画

位置づけ

- 「南海グループ経営ビジョン2027」達成に向けた最初の3年間 = 「**基盤整備期**」
- 将来の成長のカギとなる先行投資を重点的に行う「**成長の布石を打つための3年間**」
- ステークホルダーと共に、将来の成長の実現と新たな価値創造を行い「**共に創っていく3年間**」

基本方針

- 1 安全・安心で良質な交通サービスの提供
- 2 なんばのまちづくり
- 3 インバウンド旅客をはじめとする交流人口の拡大
- 4 駅を拠点としたまちづくり
- 5 不動産事業の拡充

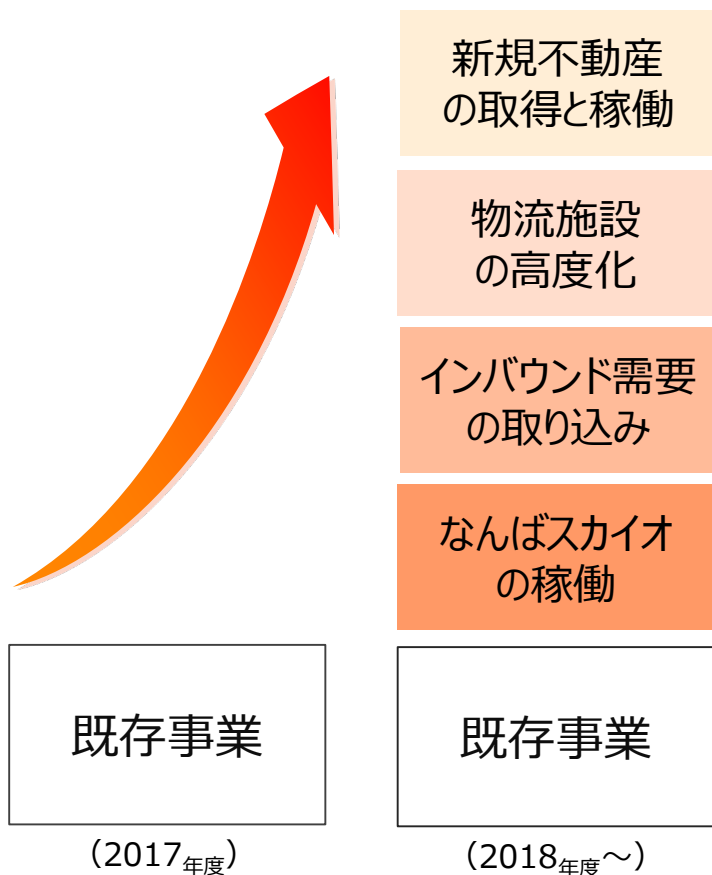
連結数値目標

	2020年度 目標	2018年度予想 (参考)
営業利益 ^{※1}	370 億円	324億円
有利子負債残高 ／EBITDA ^{※2} 倍率	7.5 倍以下	8.3倍
【参考】ROE	7.8%	

※1 営業利益＋受取配当金

※2 営業利益＋受取配当金＋減価償却費

＜今後の利益成長のイメージ＞



● 投資計画 (2018年度～2020年度)

投資額	主な内容 (億円)	
収益拡大投資 773億円	・なんばのまちづくり関連	196
	・インバウンド関連	42
	・駅を拠点としたまちづくり関連	46
	・不動産事業の拡充等	400
	・その他増収投資	82
安全・更新投資 763億円	・鉄道関連工事	390
	・不動産・流通既存施設工事	205
計		1,536億円

輸送の安全性・安定度向上と安全文化の一層の醸成と 「選ばれる沿線」に向けた施策の実行

安全性向上策へ継続的に取り組み、車両更新や駅トイレ美装化を推進します。

当期の取り組み

- 自然災害への対応、台風21号への復旧対応に注力
- 「選ばれる沿線」に向けた施策の着実な実行

- 地震や風水害に対する施設の安全性と
運転保安度の着実な向上



例) のり面にアンカー工を施行



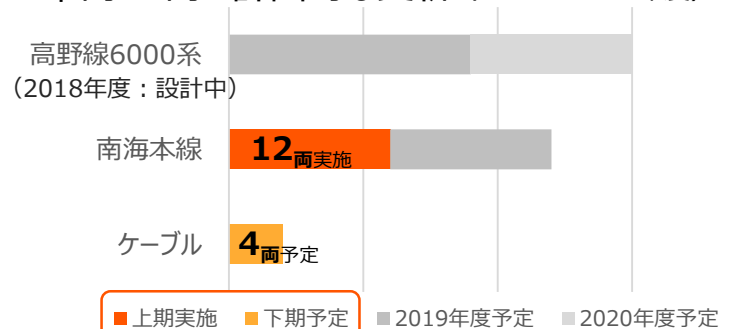
例) 橋脚に計測器を設置

- ホームや踏切の安全性向上

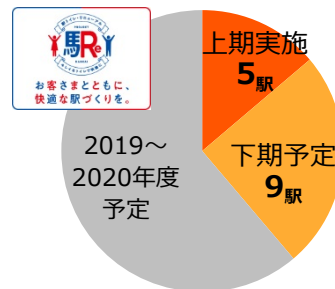


なんば駅の1番ホームへの
大開口ホームドア設置準備
(2019年3月予定)

- 車両58両の計画的な更新 (2018~2020年度)



- 駅トイレ36駅の計画的なリニューアル (2018~2020年度)



「駅トイレ・リニューアルPROJECT」推進



例) 岸和田駅のトイレ

南海ターミナルビル近接ゾーンの充実

「なんばスカイオ」のオフィスリーシング推進とフル稼働による収益拡大を目指します。



なんばの
都市機能が
さらに充実

なんばエリアの価値創造

「なんばスカイオ」
開業
(2018年10月)



パークスタワー



なんばパークス



南海ビル外壁美化



難波駅リニューアル



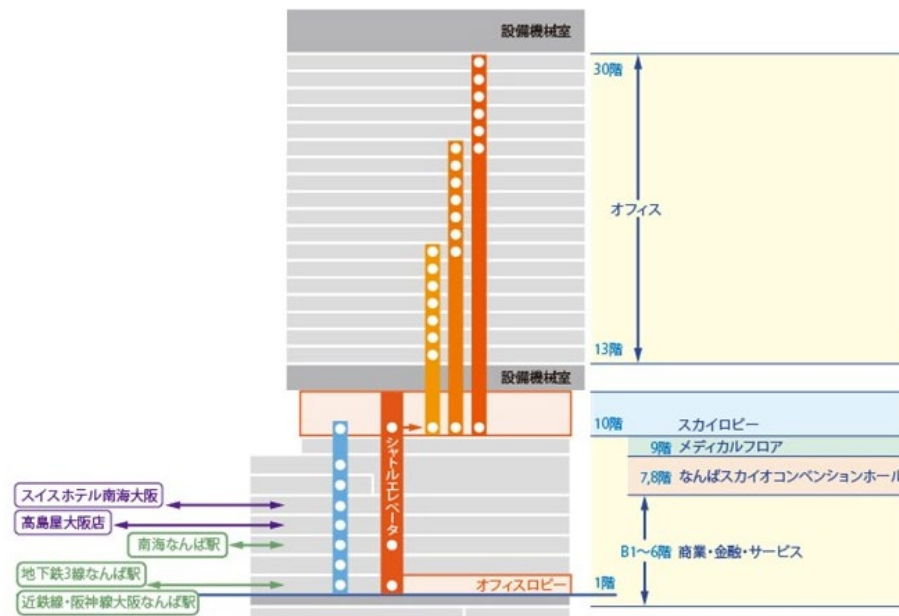
なんばEKIKANプロジェクト

「なんばスカイオ」の概要

階数	地上31階 地下2階		
建物用途	オフィス、医療施設、ホール・カンファレンス、商業系施設、金融系施設 他		
延床面積	約85,000㎡		
総事業費	約453億円		
想定収支	収益： 約40億円	EBITDA： 約31億円	



<フロア構成>



「なんば～新今宮・新世界」南北軸の形成

- ・ 「なんば～新今宮・新世界」間における物件取得・開発を推進します。
- ・ アライアンス等を活用し事業展開のスピードアップを図ります。



従来のなんばを超えた「グレーターなんば」の創造 に向けて

- 新今宮駅前に外国人就労支援・交流拠点を創設（2019年9月開業予定）
 - 解体工事完了
 - 外国人就労支援事業を進める「YOLO JAPAN」へ出資（2018年9月）
 - 同社と当社グループ会社が業務提携契約を締結(目的：外国人就労マッチング事業の推進)
- 当社グループ会社がプロポーザル事業者としてアウトドア・パーク・オアシス「JUNGLE Namba」を開業（2018年10月）
 - 大阪市から「もと馬淵生活館・もと馬淵生活館保育園跡地」を取得（2017年11月）

当期の
取り組み

「インバウンド需要のさらなる獲得」

訪日外国人の受入環境の面的拡大により、更なる利便性・快適性の向上を図ります。



「出かける価値のある場所」を沿線各所に創出

「高野山」と和歌山県「加太」のプロジェクト推進を通じた観光振興と沿線の自治体等と連携した沿線活性化策の展開を行います。

当期の取り組み



2つの重点エリアにおける プロジェクトの開始

<主な取り組み>

- ・新型 高野山ケーブルカーの新造
(2019年3月初旬
運転開始予定)



<主な取り組み>

- ・和歌山市と当社とのリノベーションまちづくり
における連携に関する
協定を締結
(2018年10月)



駅の再整備による沿線の魅力向上

- 和歌山市駅活性化計画（第2期）を更に推進します。
- 新たな拠点駅開発計画の検討を図ります。

泉北ニュータウンの再生・活性化

- 近畿大学医学部及び附属病院移転（2023年予定）を見据えた泉ヶ丘活性化の検討の深度化を図ります。
- 行政等関係各所との連携・協働を促進します。

当期の取り組み

- 「和歌山市駅活性化計画（第2期）」の推進

	内容	竣工時期	投資規模
第1期	オフィス棟・駅施設	2017年3月	約40億円
	・2017年3月 オフィス棟：「南海和歌山市駅ビル」として竣工、稼働 ・2017年7月 駅施設：改札を2階から1階へ移動、運用開始		
※第2期	ホテル棟・商業棟・公益施設棟・駐車場棟	2020年3月（予定）	総事業費：約120億円 当社負担：約30億円
	・2017年4月 旧駅ビルの解体・撤去着手 ・ 2018年6月 駐車場棟：先行して供用開始 ・ 2018年4月～ 公益施設棟・ホテル棟・商業棟の順次建設開始		

※ 市街地再開発事業



当期の取り組み

- 泉ヶ丘駅リニューアルによる利便性・収益性向上

泉ヶ丘駅周辺の開発状況

時期	内容
2014～2017年度	2014年8月 泉ヶ丘駅前地区の商業施設、駐車場を取得～駅前商業施設の営業環境及び施設利用環境を段階的に改修
2018年度	2018年4月 泉ヶ丘駅のリニューアル - 忙しい子育て世代向けの「中食」売り場の充実等



沿線を中心とした 多様な不動産ビジネスを推進

- なんば及び沿線での不動産投資を推進します。
- フロービジネス進出への深度化を図ります。

物流施設高度化の推進

北大阪流通センター、東大阪流通センターの全体開発計画の策定を進めます。

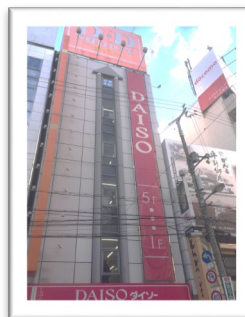
当期の取り組み

- なんばを中心とした収益物件の取得

POSCO OSAKAビル	
形態	オフィスビル
最寄駅	なんば
面積	土地面積 506.38㎡ 建物面積 5,478.11㎡
規模	地上11階 地下2階
取得相手先	POSCO JAPAN株式会社
取得	2018年7月

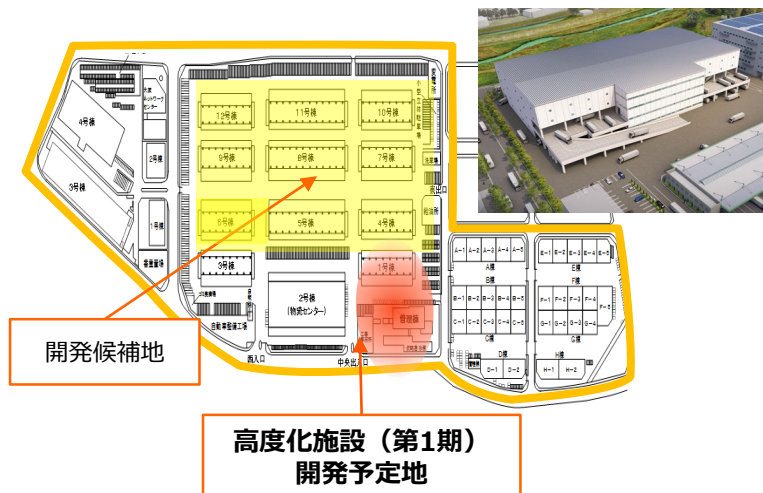


濱口ビル	
形態	商業ビル（入居テナント：DAISO）
最寄駅	なんば
面積	敷地面積 269.93㎡ 延床面積 1,499.70㎡
規模	地上6階
取得相手先	個人
取得	2018年11月



当期の取り組み

- 北大阪流通センター（1期棟開発計画）の推進



（足元の取り組み）

- 第2期の工事計画策定の推進

□ 台風21号が今後の業績に与える影響は限定的

空港線の足元の動きは前年同水準に戻ってきており、台風21号により受けた被害の大きさに比べると今後の業績に与える影響は限定的なものにとどまる見通しである。

公共輸送を担う交通事業者として、「安全・安心で良質な交通サービスの提供」を目指したハード・ソフト両面での取り組みを強化する。

□ 共創136計画の基本方針に沿った取り組みは順調なスタート

なんばスカイオの開業、ステークホルダーとのアライアンス等の実施、不動産収益物件への着実な投資実行など、共創136計画の基本方針に沿った取り組みは順調なスタートを切ることができた。

引き続き、共創136計画の基本方針に沿った施策の深度化・実行に努める。

□ なんば・沿線エリアのまちづくりへ経営資源投下、不動産事業拡大への取り組み強化

交流人口の拡大から定住人口の増加を見据え、なんば・沿線エリアのまちづくりへ経営資源の投下を行う。当社グループの成長ドライバーとなる不動産事業拡大（物流施設の高度化 含む）への取り組みを強化する。

Appendix

《10年後のありたき姿》

満足と感動の提供を通じて、 選ばれる沿線、選ばれる企業グループとなる

位置づけ

なにわ筋線開業に向け、
沿線を磨く10年間

- 沿線を主たる事業エリアとし、グループの総力を挙げて沿線価値向上に注力する
- 「なんば」と「インバウンド」をビジネスチャンスとして活用することで、沿線価値向上を加速させる
- アライアンスを積極活用することで、事業展開をスピードアップさせる

【事業戦略1】選ばれる沿線づくり

- ① 良質で親しまれる交通サービスの提供
 - (1) 安全・安心で、強靱な交通ネットワーク
 - (2) 海外評価No.1の交通グループ
 - (3) お客さま満足度の向上
- ② 沿線の玄関口・なんばのまちづくり
「グレーターなんば」を創造
- ③ 沿線活性化策を総動員

10年後の人口動態を
転出超過から転入超過に逆転

【事業戦略2】不動産事業の深化・拡大

- ① 収益物件の拡充と
フロービジネスへの進出
「総合デベロッパーへの脱却」
- ② 物流施設高度化の完了
(東大阪・北大阪流通センター)

不動産事業を鉄道と並ぶ柱に育成
(営業利益の過半に)

相乗
効果

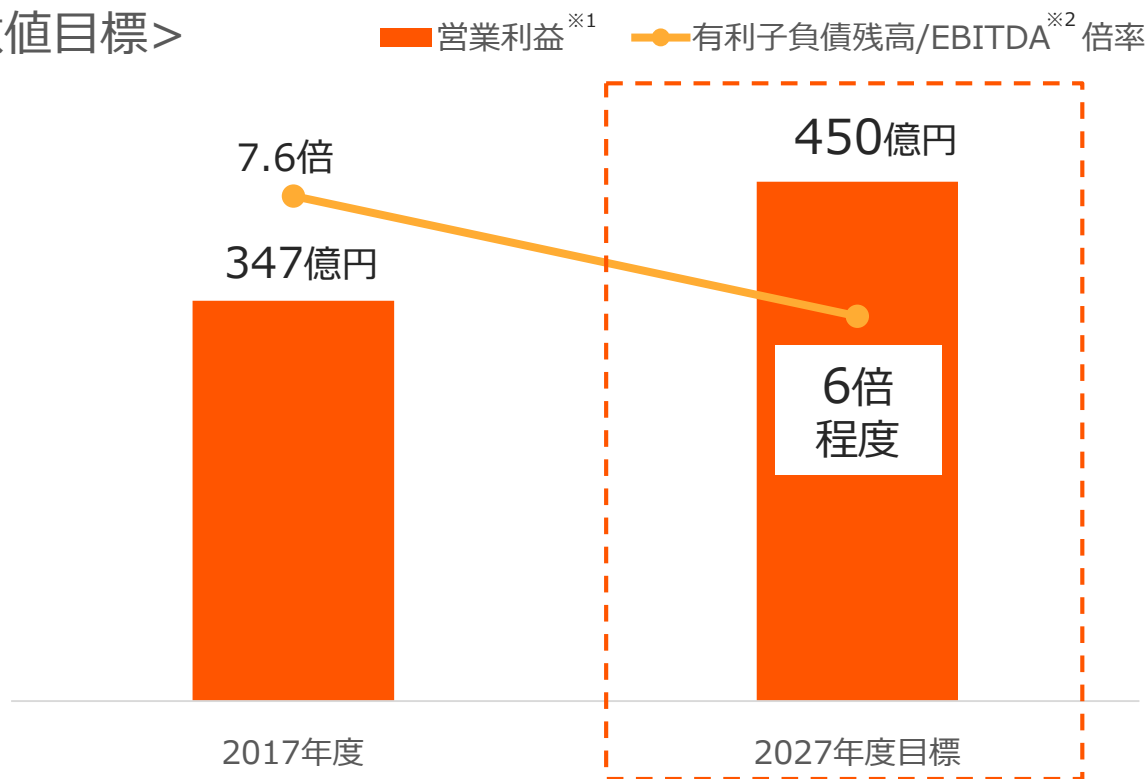
基盤として下支え

グループ経営基盤の整備

- ① 事業選別の徹底
- ② ITを積極的に活用する企業グループ
- ③ 人材戦略
- ④ 財務戦略

今後10年間は、フリーキャッシュ・フローを成長投資に優先配分し、
収益力向上を通じた財務体質の強化をめざす

<数値目標>

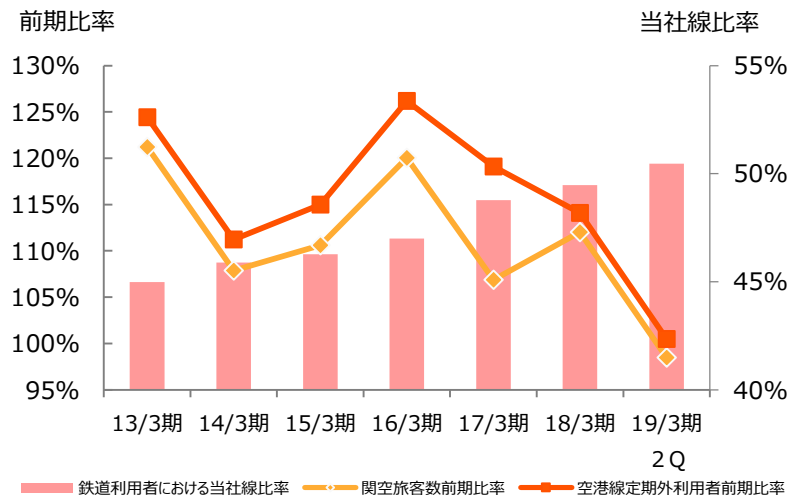


※1 営業利益 + 受取配当金

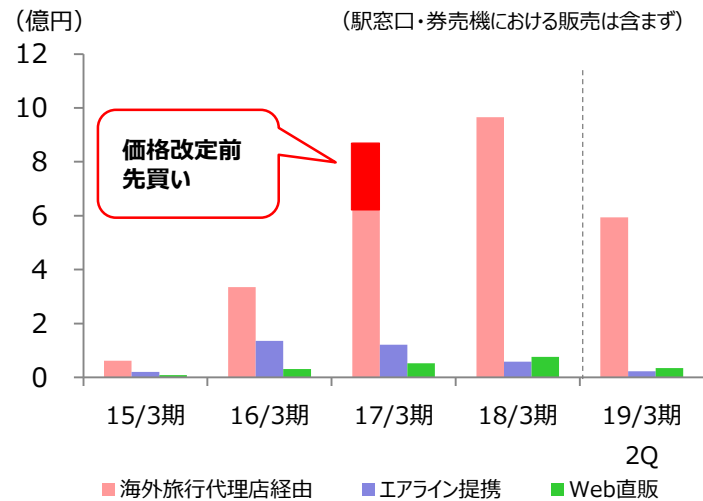
※2 営業利益 + 受取配当金 + 減価償却費

2018年度以降、成長戦略として共同出資等のアライアンスを積極的に活用するため、2027年度目標の営業利益は、受取配当金を含めた総額といたします。つきましては、2017年度における「営業利益」及び「有利子負債残高/EBITDA倍率」も、受取配当金を含めた数値にて算出しております。

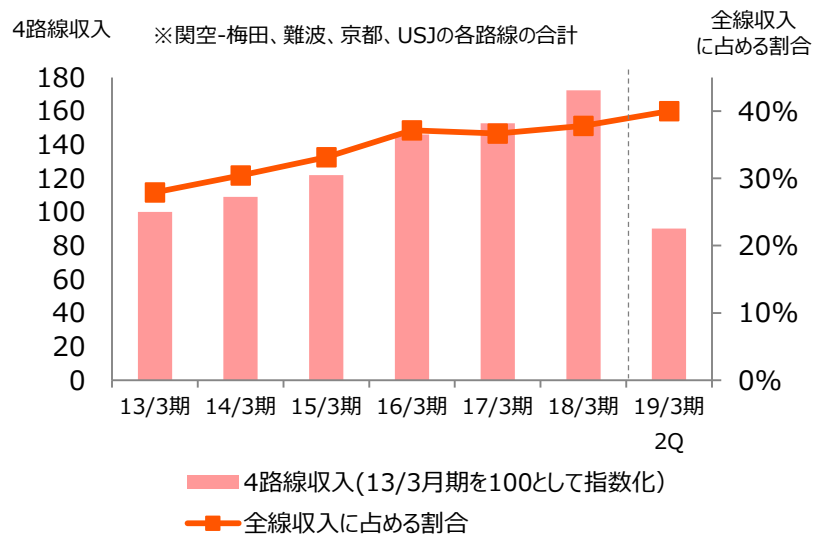
① 当社空港線の利用者比率



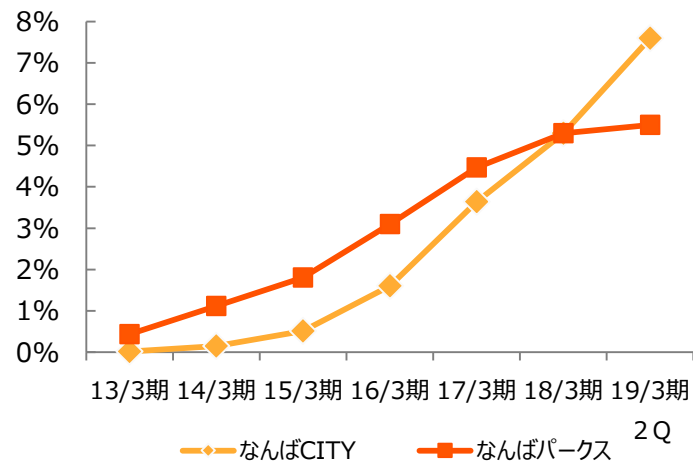
② インバウンド向け企画きっぷ販売額



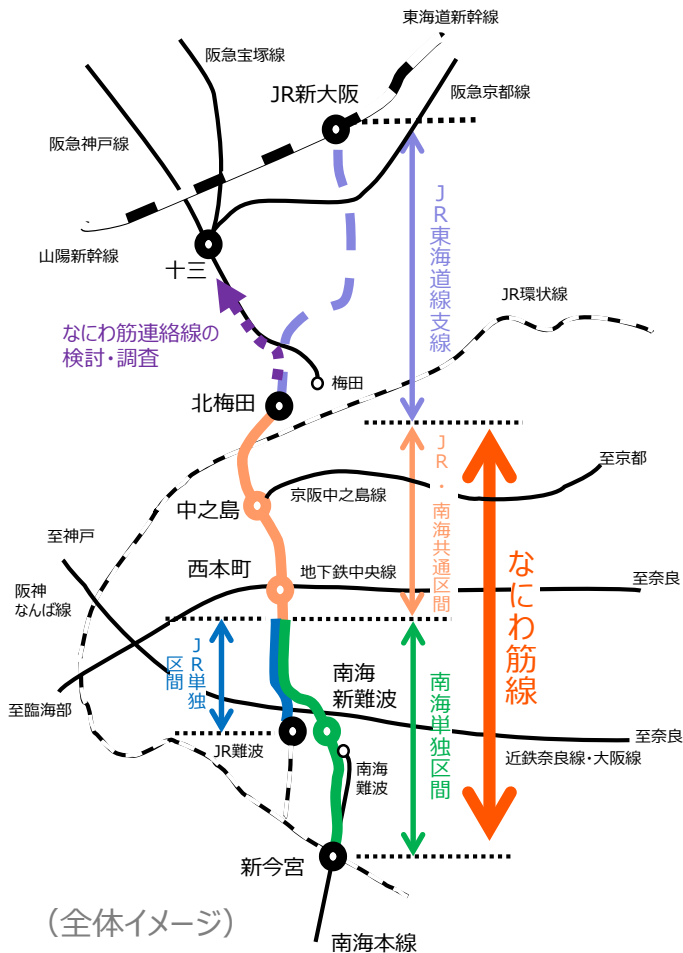
③ リムジンバス4路線※ 営業成績



④ 主要ショッピングセンター 免税売上比率の推移



2031年春の開業に向け、国土交通省をはじめとする関係各所との協議を着実に実行するとともに、必要となる施設の設計を進めています。

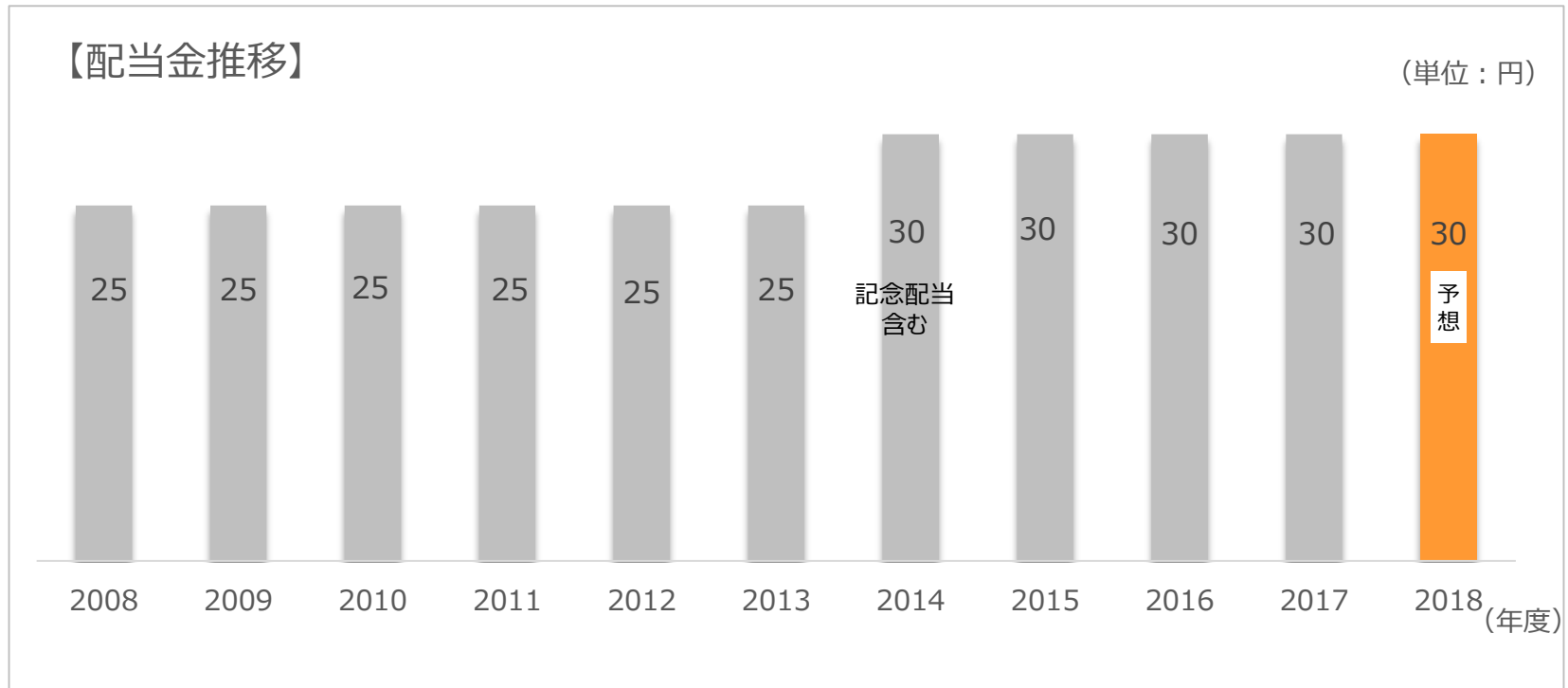


計画概要

関係者	大阪府、大阪市、西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）、南海電気鉄道株式会社（南海電鉄）、阪急電鉄株式会社
整備区間	・南海新今宮駅～（仮称）西本町駅～（仮称）北梅田駅 ・JR難波駅～（仮称）西本町駅～（仮称）北梅田駅
中間駅	（仮称）中之島駅、（仮称）西本町駅、 （仮称）南海新難波駅
総事業費	約3,300億円（概算） うち 地方出資 約330億円 （大阪府165億円、大阪市165億円） 民間出資 約330億円 （南海電鉄185億円、JR西日本145億円）
整備主体	関西高速鉄道株式会社
営業主體及び営業区間	南海電気鉄道株式会社 営業区間：南海新今宮駅～（仮称）北梅田駅 西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本） 営業区間：JR難波駅～（仮称）北梅田駅
開業目標	2031年春

配当の基本方針

- 長期にわたる安定的な経営基盤の確保と財務体質の強化に努めつつ、収益のさらなる向上を図ることにより、安定的な配当を実施。
- 内部留保資金は、鉄道事業の安全対策を中心とする設備投資のほか、当社グループの持続的な成長のための投資、財務体質の強化等に充当。



※2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施

※2008年度～2017年度：株式併合後ベースに換算した配当額(年間)にて記載





1

旧市立精華小学校跡
開発計画
(2019年開業予定)
家電量販店「エディオン」
旗艦店ほか



2

新歌舞伎座
跡地開発計画
(2019年開業予定)
ホテルロイヤル
クラシック大阪・難波



3

星野リゾート
都市型ホテル「OMO」
開発計画
(2022年開業予定)



出典：(株)エディオン プレスリリース、大阪市HP、(株)ベルコ ニュースリリース、(株)星野リゾート ニュースリリース



主な賃貸物件	名称	賃貸面積	主な用途
	南海ビル	49,827㎡	高島屋大阪店、店舗
	スイスホテル南海大阪	61,557㎡	ホテル
	なんばスカイオ	約85,000㎡※	オフィス、医療施設、ホール・カンファレンス、商業サービス施設
	パークスタワー	36,500㎡	オフィス、店舗
	フレイザーレジデンス南海大阪	7,332㎡※	サービスアパートメント

主な商業施設	名称	店舗面積	店舗数
	なんばCITY	約33,200㎡	約240店舗
	なんばパークス	約51,800㎡	約250店舗
	なんばEIKIKAN	約3,700㎡	14店舗

(2018年11月20日現在)

※ 延床面積

＜IRのお問い合わせ先＞

南海電気鉄道株式会社
経営政策室 経営企画部（IR担当）

TEL : 06-6644-7105

FAX : 06-6644-7108

E-mail : nankai_ir@nankai.co.jp

<http://www.nankai.co.jp/>

「見通し」に関する注意事項

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。

本資料で記述しております業績予想及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離する場合がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。